問いをテーマとした授業実践のために

本校の授業改善プロジェクト（まなプロ）において、今年度授業実践として深めたいテーマを「問い」とさせていただきました。以下、私がこのテーマを意識して授業づくりをした際のチェックポイントをまとめました。参考にいただければと思います。また、7月9日にお互いの授業を参観される際の視点としてもご活用いただけたらと思います。

【①めあて】

□ 単元を貫く「本質的な問い」を設定し、生徒に「めあて」を明示しているか。

【②教員からの問い（発問）と手立て】

□ 発問する内容について、「開かれた発問」と「閉じた発問」の区別を意識しているか。
また、その投げかける量の比重やタイミングについて考えているか。

□ 「問い」に対する手立てとなる活動は適切に運用されているか。

【③生徒からの問いと、振り返り】

□ 生徒自身が単元の学習を通じて「問い」を得られるようにしているか。

□ 生徒自身が学習内容を振り返り、個々に言語化したり集団で共有したりする機会を設けているか。